

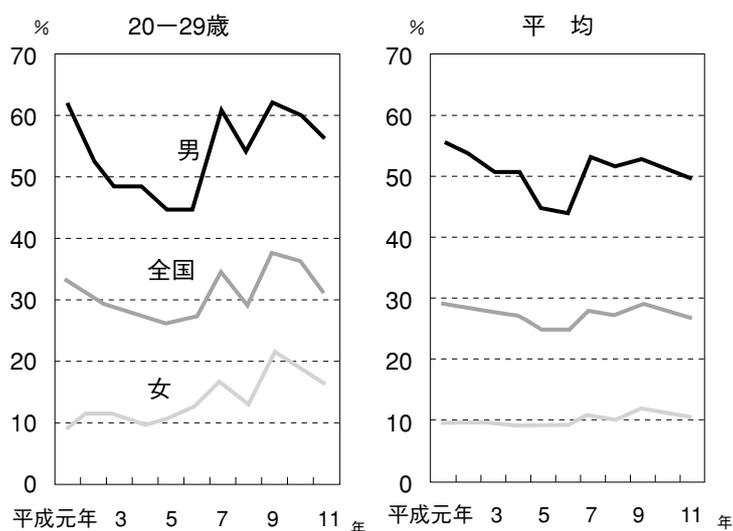
世間でもたばこの害が広く知られ、世界中で禁煙が推進されています。ここでは、わが国の喫煙率の推移について説明します。

## 1. 一般喫煙率

日本人の喫煙率に関するデータはいくつかありデータにより少し異なります。どのデータを見ても、日本人ではすべての年代において男性のほうが女性より高い喫煙率となっています。日本人男性の喫煙率は長期的に見ると減少傾向となっています。しかし、日本人女性の喫煙率は横ばい～やや増加傾向

向となっています。特に20代女性喫煙率の増加は著しく、データによってはこの10年余りで倍増しています。若い女性の喫煙率の増加は、青少年の喫煙と同様に、世界中で共通の問題となっています。

グラフは、平成13年度厚生労働省の国民栄養調査の結果です。20歳代の喫煙率とすべての年代を平均した喫煙率を示しております。



厚生労働省「国民栄養の現状」平成13年3月

## 2. わが国の医療従事者における喫煙率

わが国の医師の喫煙率は男性27.1%、女性6.8%であり、看護職の喫煙率は25.7%（女性看護職24.5%）と報告されています。医師をはじめとする医療従事者は、自らたばこを吸わない健康なライフスタイルの模範となることが求められます。

先進国における医師の喫煙率は一般国民よりも低いのですが、わが国にも当てはまります。日本医師会が実施した調査（2000年）によると、医師の喫煙率は男性27.1%、女性6.8%で、一般国民の約半分でした。男性医師の喫煙率を診療科目別にみると、呼吸器科（18.9%）が最も低く、泌尿器科（38.7%）が最も高いことがわかりました。

一方、諸外国でのナースの喫煙率は一般女性より高いとの報告が多いようです。日本看護協会の調査結果（2001年）でも、看護職の喫煙率は全体で25.7%（女性看護職24.5%）であり、一般女性の2倍近くありました。

わが国の医師の喫煙率は、英国や米国の医師の喫煙率（10%以下）に比べるとまだ高いといえます。また、看護師も医師と同じくヘルスケア・プロフェSSIONALとして、自らたばこを吸わない健康なロールモデルを目指すべきでしょう。特に21世紀に入り日本医師会や日本看護協会、日本呼吸器学会、日本循環器学会、日本小児科学会、日本肺癌学会、日本公衆衛生学会、

日本癌学会などから、相次いで禁煙宣言あるいは行動計画などが打ち出されています。そして、わが国の医療従事者および一般国民の喫煙を減らすことや禁煙希望者に対する医学的支援の充実を図ることを願い、積極的な禁煙キャンペーンが展開されるようになりました。

川根博司

## 3. 医学系学生と喫煙率

表1 学科別の喫煙状況

	男	女	男女合計喫煙率（総数）
医学科	30.00%	2.90%	23.00%（408）
歯学部	35.60%	4.60%	22.30%（251）
保健学科	34.30%	10.10%	13.90%（424）
薬学科	26.80%	1.20%	11.30%（141）
総計	31.60%	6.90%	18.40%（1224）

表2 医学系大学生はいつ頃から吸うようになりましたか

大学に入学して	132人	58.70%
高等学校	74人	32.90%
中学校	12人	5.30%
小学校高学年	3人	1.30%
小学校中学年	2人	0.90%
小学校入学前	2人	0.90%

表3 年齢別喫煙状況

	男	女	喫煙率（総数）
未成年	15.10%	1.10%	5.40%（276）
20歳	35.90%	5.20%	17.70%（226）
21歳	30.90%	11.60%	18.90%（222）
22歳	36.60%	11.20%	23.40%（171）
23以上	34.70%	9.60%	26.70%（329）
総計	31.60%	6.90%	18.40%（1224）

西亀正之

## 4. 看護学校生の喫煙状況

広島県内の看護学校生の喫煙状況（特に喫煙率）を調査しました。喫煙率は全体22.0%、女性18.8%、男性53.5%でした。未成年の喫煙率は女性12.1%、男性44.0%でした。女性では20-29才（25.6%）と30-39才（24.3%）で高い喫煙率でした。

- 1) 対象：広島県内の看護学校26施設の生徒計4,349人（女性3,951人、男性398人）、年齢、性別分布：女性（19才以下：1,866人、20-29才：1,847人、30-39才：177人、40才以上：61人）、男性（19才以下：109人、20-29才：256人、30-39才：28人、40才以上：5人）
- 2) 全体の喫煙経験率と喫煙率（図1）：喫煙経験（喫煙した事がある）率：全体40.8%、女性：37.1%、男性：77.4%、喫煙（現在も喫煙している）率：全体22.0%、女性：18.8%、男性：53.5%
- 3) 年齢別・男女別喫煙経験率と喫煙率（図2）：女性・男性共に20～29才が高率です。
- 4) 県内27施設別喫煙経験率と喫煙率（図3）：喫煙経験率は11.1%から66.4%、喫煙率は0%から50.0%と分散しています。
- 5) 施設別学年別喫煙経験率と喫煙率については概して学年があがるとつれて喫煙率もあがっていく施設が多いが、そうでない施設もあります。

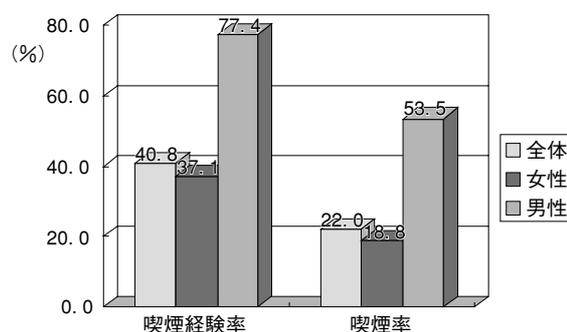


図1 看護学校生の喫煙経験率と喫煙率

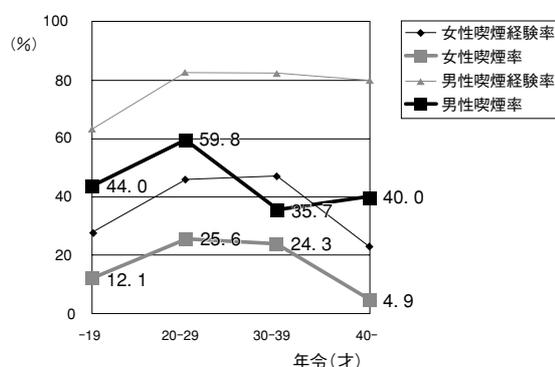


図2 年齢別・男女別喫煙経験率と喫煙率

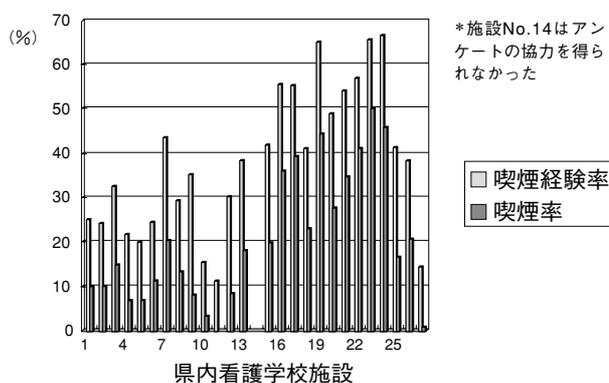


図3 県内27施設\* 別喫煙経験率と喫煙率

註：この調査は1999年に行われましたが、2002年に広島県看護協会が調査した結果では更に喫煙率が上昇していることが示されており（岩森追記）。